夕刊
新京日日新聞

定價 一ヶ月金八十錢 一ヶ年金八圓 郵稅 一ヶ月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 二五二二・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

資本金五百萬圓 日滿アルミニユーム會社設立計畫 急速に成立の見込み

〔東京廿五日發國通〕我國のアルミニユーム工業は軍需品工業中で重要なる

＝地位＝

を有するにも拘らず、英佛等に於ける濕式法が不可能な爲め今日絶望され年年之が供給を海外に仰ぎ昨年度の輸入額の如き八百萬斤、五百萬圓に達して居るが兼て工業化を實驗中の理化學研究所の鈴木博士發明になる乾式法の工業化が完全に成功を遂げた爲め、今回のアルミニユーム會社設立の運びとなり。かくて多年の懸案であつたアルミニユーム工業が確立しアルミニユームの自給自足が實現されることゝなつた、新會社は日滿アルミニユーム會社と稱し、資本金五百萬圓で遼陽その他滿洲全土に亘り極めて豐富に出る粘土を原料とし滿鐵と特別契約を結び富山縣下に工場を

＝設置＝

し、滿鐵で計畫中の滿洲アルミニユーム會社の姉妹社として急速設立を急ぐ筈である

新京に於ける六月分小賣物價速報 ―關東廳調査課―

新京に於ける昭和八年六月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一騰落割合（重要商品三十六種に付算出）

前月に比し一厘騰貴

前年同月に比し一割七分八厘騰貴

昭和五年一月に比し指數九二七即七分三厘下落

昭和六年十一月に比し指數一二五、三即ち二割五分三厘騰貴

尚類別に依る指數を示せば次の如し

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす	昭和五年一月を一〇〇とす
食料品（十種）	一〇〇、〇	一二四、六	九七、五
調味料（九種）	一〇〇、七	一一三、一	八六、〇
飲料及嗜好品（八種）	九八、七	一〇八、七	一〇〇、一
衣料品（七種）	一〇〇、九	一二九、四	八五、三
燃料（二種）	一〇〇、〇	一四二、一	九八、九
總平均（三十六種）	一〇〇、一	一一七、八	九二、七

二騰落品目（調査品目五十九種中前月に比し騰落したる物を掲ぐ）騰貴三種 鰹節（六分七厘）蒲團綿（六分七厘）清酒白鶴（四分八厘）

下落五種 玉葱（三割）、角砂糖（八分三厘）サイダー、三矢（八分三厘）麥酒サツポロ（六分二厘）麥酒、キリン（六分二厘）

保合五十一種

海軍補充計畫初年度 一億二千萬圓 改裝費五千萬圓計上

〔東京廿五日發國通〕海軍省では第二次補充計畫、昭和十二年度完成豫定を十年度に繰上げて初年度分一億二千萬圓と艦艇改製費九千萬圓を計上の方針で、軍令部にて明年度豫算を立案中であつたが、この程九州旅行中の大角海相の歸京後豫算省議を開く筈である

航空局で全日本航空網の完備計畫

〔東京二十五日發國通〕遞信省航空局では時局に鑑み十年計劃で全日本航空網の完備を計劃して居るが、差當り明年度豫算で左の計劃を實施すべく廿六日省内豫算打合はせに持出し七月末頃の豫算省議を經て大藏省の承認を得べく意氣込んでゐる

一、福岡臺灣間の定期航空路の設置十一年度繼續豫算額八百八十萬圓

二、東京、仙臺、青森、札幌間の定期航空路設定

三、福岡陸上飛行場新設

ロシヤ商品の北滿進出を計畫

〔ハルビン廿五日發國通〕當地ロシヤ商舖は廿一日定例總會に於てロシヤ商品の北滿奥地進出狀態に就き審議するところあつたが、ソヴエート商品の進出は相當有望なりとの確信を得、これが具体的方法の研究を開始した

大衆黨の非常時克服案

〔東京廿四日發國通〕社會大衆黨は現下内外非常時を克服すべき轉換期建設政策案を目ざし、二十四日同本部に擴大政策委員會を開催

一、國民經濟會議の開催

二、東洋經濟會議の召集

三、大衆インフレの徹底化

四、三稅主義による財政均衡増稅案（相續稅を十倍増加して三億圓、財産稅を三倍増加して九億圓、増加（?）稅を設定して二億圓）

の四テーゼを決議、七月三日の常任執行委員で正式決定する

寄附

國際運輸齊藤榮助氏は過般ハルビンに轉勤、子息も今回ハルビンへ轉校することゝなり在學記念に金十圓を西廣場小學校へ寄附、新京時局後援會へ二十圓、町小學校父兄會へ二十圓、青年訓練所へ二十圓をそれぞれ寄附した

寄附

市内吉野町二丁目二十八番地菓子商峯長春堂峯直氏は亡父の滿中陰に際し新京署貧民救濟金に二十圓を寄附をした

目覺しき滿洲產業の發展（五）

大連市長 小川順之助

滿洲事變は斯くの如く滿洲產業自体の革新期を招致し又日本商品の滿洲進出に絶好のチャンスを與へたのであります、滿蒙の玄關たる我大連市は此の好機を捕へ本夏七月二十三日より八月末日迄大連に滿洲大博覽會を開催することに致しました、之は一には滿洲建國の大偉業を祝福し滿洲國の發展振を中外に宣明すると共に、一には此の機會に日本商品の滿洲に進出し其の販路の擴張を主なる目的とするのであります、日本商品の滿洲進出には大連に於て日本商品の縮圖を陳列し滿洲人に之を見て貰ひ宣傳をすることが必要であります、先達滿洲各地方の有力なる實業家連中が日本内地を視察しての歸途土產話として彼等は日本商品を直取引して滿洲に入れたいと云ふ希望を洩して居つたから今度大連で博覽會を開催し能くこゝで研究して商品の照會もし取引の斡旋もしようではないかと話した處が非常に喜んで歸つて行きました、從つて我滿洲博覽會に對する滿洲國人の期待も非常なものであります、尚滿鐵は大割引をして滿洲國人の大連行を勸誘して下さることゝ思ひますから定めし多數の滿洲國觀覽客が來ることゝ思ひます、一方日本商品滿洲進出の好機を覺られたと見へ各植民地は勿論内地各府縣及特種會社等より曾て何處の博覽會にも例のない三十有餘の特設館設置の申込を受け特設館オンパレードの盛況を呈して居ります、其の外内地各縣よりは全部の出品申込があります、今次の大連の博覽會は時期がよいのと極めて適切の企であると云ふので軍部初め滿洲國各要路は勿論關東廳、滿鐵の贊助を得て居るので全滿擧つて援助を受ける次第であります、尚内地各方面の贊成を得て前景氣は中々盛なものであります、風光明媚な星ケ浦に面した白雲山麓に二十數萬坪の地をトし大會場建設中で今や着々準備も進んで居りますので此夏は定めし盛なる博覽會が出來ることゝ思ひ從ひまして其の齎す效果が如何に大なるものあるかを想像し得ますので各方面多數の觀覽を切望致す次第であります。斯くして滿洲大博覽會が日滿兩國の產業發展に大なる貢獻を爲し得れば洵に幸であります將來滿洲產業の發展に最も重大なる關係のあるは關東州が自由貿易地帶であることであります、若し將來各國が經濟的に自己防衛の立場より關稅障壁を高くして互に爭ふ時期があるとすれば其の時こそは最も有利な立場に立ち得るのであります關東州全部は世界に類例なき一大保稅倉庫であります、日本内地に對しては關東州には特惠關稅の制度あり依て各種工業勃興の趨勢あり又目下問題となり居る滿洲國の關稅制度の改正問題は關東州に有利に解決せらるゝことは勿論であります、然らば滿蒙の大玄關であり且自由港たる當大連は將來の發展は蓋し著しきものありと存じます、今は上海と對立して居りますが支那全体の對外貿易の行詰れることは前述の如くで今後治安維持、交通完備によりて無限の寶庫が急速に開拓せらるべき滿蒙を大背後地として有する大連港の發展も亦目覺しきものあり、軈て經濟的に上海を凌駕し得ることゝ信じます

上述の如く滿洲產業革命期に際し滿洲國の將來は如何に隆々たる發展を爲すかを思へば洵に愉快に堪へざる次第でありますが然るに或は今後の滿洲經濟には多額の資金を要するので日本は財政的に行詰ると見て居る外國人もある、又貧弱なる日本の財政で今後多額の軍事費を支辨し得るや等の憂を抱く人もあるが滿蒙の地は豐富なる天然資源を有することに於て世界の寶庫と云はれ又北滿の地は沃野千里也今後之が開發指導宜しきを得ば滿洲國今後の發展は目覺しきものあるべく私は滿洲は將來に於ける最も富國になりはせぬかと思うて居る位であります、建國滿一年にして滿洲國財政樂觀せらるる今日軍事費の如き敢て憂ふるに足らずと存じます、斯の如く滿洲國の產業の發展著しきものあり滿洲資源の開發により日本が多大の利益を受くる許りでなく滿洲人の富の增加に伴ひ購買力の增大により日本内地の商品が販路を擴張し滿洲に進出し得させば日滿兩國は經濟的に財政的に大發展を爲すべく以上の議論の如き一片の杞憂に過ぎず滿洲國は列國環視の裡に於て驚異的發展を爲すことゝ信ずる次第であります（終）

珠玉を碎く（三十八）

吉井勇

（高根秀浩畫）

禁無斷上映上演

歡會（九）

英一はドアを輕く叩く音を聽くと、すぐに露子が何か忘れものをして、それを取りに歸つて來たのだと思つた。で、長椅子に腰掛けたまゝ、

『お入んなさい』

と言つてからすぐ引き續いて、

『何うしたんです。何か忘れものでもしたんですか』

と聲を懸けた。が、入つて來たのは思ひも懸けない大貫だつた。

『やあ、何うだい。何だかぼんやりしてゐるぢやないか』

大貫はびつくりしたやうに目を瞬つて、こつちを見詰めてゐる英一の顏を、冷笑といふほどでもないが、鋭い皮肉な眼差で見遣りながら、のつそり長椅子の方へ歩み寄つた。そしてそこに突つ立つたまゝ笑ひながら、

『何ね、君を驚かせるつもりで訪問した譯ぢやあないんだがね、兎に角君と同じホテルに泊り合せて默つて歸つてしまふのも、かへつて友情に背く譯だと思つたから、突然このドアをノックしたといふ譯なんだ』

英一はさう言はれると始めて頷いて、

『さうか。君も昨夜からこゝに泊つてゐたのか』

『うん、以前よく泊りに來たことがあるもんだから、今度日本に歸つてからも、やつぱり時々泊りに來るよ。しかし君とかうして泊り合せやうとは思はなかつたよ。實は昨夜からちやんと君の泊つてゐることを知つてゐたんだが、お邪魔をするのも惡いと思つて、それで今まで御遠慮をしてゐたといふ譯なんだ。はゝゝゝ、どうだい松本。君は氣の利いた友達を持つてゐて幸福だな』

大貫はさう磊落に言ひながら、突然手を延ばして英一の肩のところをぽんとたゝいた。そして少し氣に卷かれたやうな顏付で、何かきたいことがあるもんだがね……二

いひかけやうとした英一の言葉をさへぎるやうに手を振りながら、續けさまに警句めいた文句を浴びせかけた。

『いや、兎に角君がこんなことをするやうになつたのは、友達として實に嬉しいよ。女なんて何だい。たかゞ男の肋骨だ。つまり女なんてものは男に隷屬して然るべきものだ。しかしこいつが時々生意氣にも、男に對して謀叛を企てやがるんだ。いくら謀叛を企てても、駄目なことは解つてゐる癖に、時々黄色い聲を上げて攻め寄せて來る……また男の中にも馬鹿なやつがゐて、かういふ女を煽かけるんだからやり切れやしない』

から言つてからちよつと言葉を途切らして、ぢつと英一の顏を見詰めながら、

『ところで何うだい。君はもう近頃では女といふものが何ういふものだか解つだらう』

『いゝや、僕には解らないよ。僕は君の今言つたやうに女を輕蔑することは出來ない』

その言葉を聽くと、大貫はわざとらしく目を丸くして、

『おや、おや、それぢやあおれが君のために喜ぶと言つた言葉は、取消さなくてはならないかな。それぢやあ君はやつぱり以前のやうな、生溫い女性觀を持つてゐるのだね』

『生溫いか何うだか解らないが、兎に角僕は男と女との關係を、君のやうには考へたくないよ』

『はゝゝゝゝ、考へたくなけりやあ考へないがいゝ。しかし今に君もおれのやうな考へに、きつとなるよ』

大貫はさう投げ付けるやうに言つたかと思ふと、急に改まつた顏付になつて、

『ところでおれはあの露子のこと

拓務省で新たに滿蒙局を新設計畫
極力移民事業に力を注ぐ方針
新京出張所も充實

（東京二十五日發國通）拓務省では七月早々來年度重要計畫を省議によつて決定する筈だが、最近滿洲の國運發達と共に日滿關係が益々複雜重要性を加へる實情に鑑み、來年度豫算には管理局より獨立した滿蒙局を新設するに省內の大勢既に一致してゐる、又之と同時に新京出張所の陣容充實を圖り。今後の對滿方針貫徹に萬全を期せんとしてゐる、又一方移民政策については滿洲自衛移民の從來の五百名を倍加し一千名とする外十五ケ年の繼續事業として十萬家族五十萬人の一般移民計畫を具體的にせんとして居り、尚ほブラジル移民については本年度の一萬七千人に對し三千人を增加し二萬人の派遣を行はんと意氣込んでゐる、然し實際問題として財源關係から大藏省が之を如何なる程度迄認めるか注目されてゐる

可及的短期間に纏めんとする
北鐵讓渡三國委員
愈々本日より北鐵讓渡交涉

（東京廿五日發國通）北滿鐵道買收讓渡會議は愈々二十六日午後二時より、外相官邸に內田外相司會の下に初顏合せを行ふを皮切りとし、翌二十七日より霞ケ關の外務次官官舍に連日會議を續け、可及的最短期間內に協議を纏め、以て過去半世紀間に亘り絕えず極東平和動搖の一因子となりつゝあつた舊東支鐵道問題を一擧に解消し去らしめんとの意圖の下に日滿蘇三國代表者は異常なる緊張を以て會議に臨まんとしてゐる

同鐵道は遠からず立枯れの已むなき運命に逢着するものであつた

尙ほ滿洲國側ではソ聯側の北滿鐵道に對する權利は所有權に非ずして滿ソ兩國間による共同經營權なるを以て今回の會議で行ふ交涉は右共同經營權の買收であるとなしてゐる

不法拉去車は
北鐵所有總車輛の六割四分
殘留車に老朽車多數

（ハルビン廿五日發國通）駐哈滿洲國某機關の發表に依れば五月三十一日現在のソ聯側が搬出せる車輛數は機關車八十輛、客車百六十輛、貨車三千百輛で、デカボード型機關車の如き北鐵所屬總數百四十六輛の六割四分强が不法拉去されてゐる譯だ

北鐵所屬車輛は元來次の如くである（北滿鐵道管理局發表）

機關車（客車牽引用車）八二
機關車（貨車牽引用通常型）二七〇
デカボード機關車（强力貨車牽引用）一二四
タンク機關車　三五
△計　五一一
客車（特務車を含む）六〇八
貨車　九、一四八

右に依ると現在北鐵內に殘されたる車輛は機關車四百三十一輛、客車四百四十八輛、貨車六千四十九輛となり、然も右の中には使用に耐えぬ老朽車が相當混在して居る模樣である

讓渡交涉と
三國の立場と主張

（東京廿六日發國通）今次東京に於て開かれる北滿鐵道讓渡交涉に對する關係三國の立場と主張は大体次の如きものである

蘇聯側の立場

蘇聯側は北滿鐵道が最近缺損續きであり、滿洲國の出現により愈々同鐵道の政治經濟上の價値が減損し行きつゝある情勢に見切りをつけ此際潔く滿洲國に賣却せよとの決意を見するに至つた而しながら鐵道の放棄はロシアにとつては重大國策の轉換なる爲同國內にも意見の對立があつたがスターリン、リトヴィノフの如き極東情勢の將來に明確なる把握を有する一派はあくまで大勢が讓渡に向つて居る點を認識するに至つたもので

滿洲國側の立場

滿洲國としては北鐵の賣買交涉の如何に拘らず獨自の鐵道政策を樹立し着々と北鐵包圍鐵道網を張つたので

日本側の立場

今回の交涉に對し日本側は單に仲介斡旋の勞を執らんとするもので而も鐵道買收は全く純粹に商取引の性質に限定せんとしてゐる、從つて若しソ聯側が種々の政治問題を持出し交涉を紛糾せしむるが如き態度に出た時は斷乎之を一蹴せんとの明白なる態度を持してゐる

北鐵回收交涉
結局諸政治問題に言及せん

（東京廿六日發國通）北滿鐵道回收交涉は別項の如くその主なる仕事は買收の價格、條件の交涉に過ぎぬが其の實質は日滿は蘇三國關係の將來に亘る全般的政治問題の見方如何が交涉解決の成否を決する事となるのだから勢ひ會議では

一、日蘇不可侵條約問題
一、北樺太放棄問題
一、沿海州に於ける日露漁業問題

等の諸政治問題に言及する事となりはしないかと見られ今回の會議は往年のポーツマス會議の修正會議とも見做し得るものである

十八縣治安維持會議

（ハルビン二十五日發國通）二十一、二の兩日にかけて行はれた江省下十八縣の治安維持會議は中央より竹內民政部總務司長、星子警務司總務科長、各縣より參事官集まり、新市街文化協會に於て開催されたが各縣匪賊狀況報告の後これらの徹底的討伐策を審議し

各縣下の保衛團を全部警察隊に改編し、日本軍と連絡し匪賊跳梁の高粱繁茂期前に掃蕩をなすことを決議した

經濟會議休會案
米、佛兩國內に擡頭
＝會議の前途全く暗憺＝

（ロンドン廿四日發國通）世界經濟會議も最初の二週間を經へて、愈々本筋に入らんとする時、爲替安定問題のもつれより忽ち停頓狀態に入つた觀があるが、廿四日俄然米、佛兩國で經濟會議の即時休會案が非公式に締結されたと報ぜられ、經濟會議の前途は全く暗雲に閉されるに至つた、特に佛議會では通貨の安定されるまで經濟會議の休會を要求する動議が、反政府派より提出され一方ワシントンでは民主黨上院議員の非公式會合で現狀の經濟會議では何ら重要な成果を得られないと云ふに意見の一致を見、且關稅引下げ、通貨安定の兩問題はル大統領の國內政策と兩立し難いものだとの意見が有力である

通商諸條約の改訂期を前に
關稅制度改革說擡頭
我が制度の不備を痛感す

（東京廿五日發國通）最近に於ける世界各國間の經濟的對立は恐慌の激化と共に著しく尖銳化し既存諸條約の改訂を機會に何れも極端なる國家主義政策に立脚する關稅政策を採用し、貿易戰は火花を散らしてゐるが、我國現行制度は明治時代の關稅實施權恢復に伸び設けられたる制度を其儘踏襲せる狀態で歐米先進國の制度に比すれば極めて幼稚なもので

一、國家主義的なカルテル關稅的特色は殆んどなく從つて歐米各國のそれに比し稅率が極めて低い

一、外國資本に抗しダンピングを防衛するため不當廉賣防止制度は極めて不完全で今迄屢々その發動の必要があつたに拘らず遂に關稅低率法中之に關する法規の發動不能に終始したこと

一、外國政府の關稅戰爭に對抗すべき報復關稅制度は既存通商條約に拘束されて適用上頗る不便を伴ひ、その發動殆んど不可能な事等現下の國際經濟戰に對抗するためには無力に等しい狀態で、最近の對英經濟ブロック結束に伴ふ屬領の對日關稅引上げに直面して我官民は今更の如く本邦の制度の不備不完全に驚いた程だが通商條約の大部分が期限滿了に近づき改訂期が迫つてゐるので、經濟戰爭を覺悟し、之を機會に我關稅制度を根本的に樹立する必要ありといふ意見が當局に有力化してゐる、目下開催中の經濟會議は各種の貿易上の障碍を除去するにつき商議を進めてゐるので、會議の經過を見た上大藏、外務等關係各省の協議會を設置し、會議の結果に應じ新制度の研究に着手すべきだといふのである

自主決定を留保して
印度關稅引下げに贊成

（ロンドン二十四日發國通）世界經濟會議印度代表部は二十四日關稅引下げに關し、印度政府は經濟會議で關稅引下げ案が採擇された場合、直ちに之に參加する用意を有す、但し之が期限並びに引下げの程度に就いては自主的に決すべきだとの覺書を發表した

舊領返還要求立消えて
當のフーゲンベルグ辭表提出

（ベルリン二十四日發國通）舊獨領植民地返還要求並びに共產主義の撲滅を聲明した覺書を國際會議に提出し、その去就進退を注目されつゝある獨逸農商相フーゲンベルグ氏は二十四日遂に辭表を提出した

日滿關係は
かくなるべかりしものだ
ペルリ僧正語る

（シカゴ二十四日發國通）浦賀の夢を破つた緣故も深きペルリ僧正は、十三日チャーチクラブで日支關係に關し左の如く述べた

日滿支三國の事件は、かくなるべかりしものであり、又その通りになつたものである今後は日米兩國が親善關係に入ることに依り、太平洋の平和は永久に維持されるであらう

停戰協定後も
日貨排斥はなほ熾烈
日貨販賣者を處分

（北平二十五日發國通）日支停戰交涉に依つて平津の排日が止つたと思つたら大間違ひで支那側は表面抗日を否定しながら、黨部や新聞が今尙盛んに排日分子煽動を行つて居るので、和平門外にある抗日會本部では依然として日本商品の販賣を妨害しつゝあるが、停戰成立の本月始めから今月まで行はれた具体的不法行爲の判明したものを列擧すれば

一、本月九日天津の邦商山田氏が哈達門外の義和祥にとどけた雜貨二千元を抗日會が沒收し八百元の罰金を申し受け、未だ支拂はないので主人を人質として監禁

二、九日麻線胡同の金華洋行が新聞用紙を前門街に運送途中尾行した抗日會員のため强奪された

三、十一日支那商運成達が布二捆を運送中押へられ店員は拉致され、未だ釋放されず

四、十三日抗日會員はトラック四臺に分乘し、雲居寺の支那商李敬原を襲ひゴム靴一千三百足を沒收、罰金四百元を課した

五、十四日東西牌樓の一自轉車屋は日本品だとて全商品を沒收され五百元罰金を申し付けられ、今尙ごたごた中

六、十五日東站に着いた臺灣產のバナナ卅六籠も日本品だとて沒收し、半分を傷兵の慰問に半分は抗日會員が分配して喰つて了つた

七、廿日西觀音寺胡同の隆聰洋行のゴム靴及び雜貨を停車場から運送中沒收し、支那服を着た邦人店員を人質に拉致せんとして問題を起し今尙係爭中である

在滿朝鮮人の現狀（五）
關東憲兵司令部發表

（五）教育狀況　滿鐵附屬地には安東、撫順、奉天等鮮人の居住多き所に於ては每年入學希望者の全部を收容すること能はずして之が改善方を要望し滿鐵會社に於ても出來得る限り普通學校の擴張に努めつゝあるも未だ完成するに至らず。鮮人教育問題は種々論議せられ將來之が改善と施設の完備を要する所大なり

（六）宗教の概要　在滿鮮人の宗教は基督教最も多く監理派、長老派の二派對立しありと雖も米國系監理派最も優秀にして各主要地に教會を設け之が布教傳道の結果その勢力の增大の傾向ありしが滿洲事變と兵匪の跳梁と昨夏北滿大水災の爲一頓挫を來したり、而して各派教會に於ては資力乏しく之が救濟も殆んど實現すること不能の儘推移し來りたるも治安の恢復と共にその活動漸次擡頭し來り將來益々熾烈を極むべく豫測し得るの狀勢にあり、本年以來之が具体化したるものは吉林鮮人基督教監理派エヴエツ青年會の組織にして之が經緯を述ぶれば次の如し

吉林朝鮮人基督教監理教會は設立後十年を經過しその間信徒の大部分は民族運動に參加しありたる關係上今次事變に依り皇軍入吉と共に檢擧或は退去處分等に依りその大半を失ひ及勢力を衰退せり、依つて之を挽回すべく在哈爾賓北滿宣教部より鮮人牧師玄聖元の派遣を請ひ大いに布教に努めたる結果百二十四名の信徒を得更に布教役員養成及教理宣傳、信徒の團体的訓練を目的とし三月二日エヴエツ青年會を組織し會員三十一名（內女五名）を得部署並綱領を定め會規約は在京城全鮮エヴエツ青年聯合會の規則を準用することとせるが本教會の經歷等に鑑み再び民族運動をなすに非ずや注意を要するものあり

（七）鮮滿人の係爭問題　滿洲事變前は排日及鮮人驅逐策に轉聯して各地に惹起しありたる係爭問題は事變後一時潛伏しありたるが治安恢復と鮮人の勢力增加とに依り再發の傾向あり當局に於て之が指導に萬全の注意を拂ひあるも本年一月以降四月迄に憲兵の知悉したる係爭問題を述ぶれば左の如し

1、大正六年鮮人沈文沃は安東西方約十一里の鳳城縣第六區大樓房居住支那人姜晋賢より土地七百天地を商租しありたるが爾來支那舊政權の不法なる壓迫により土地を占有し得ず、爾來十七年間支那人の分耕に委して推移しありたるが滿洲事變後屢次接衝を重ね昨年六月以來漸く現地的に圓滿解決したり、然るに當時同地附近は匪首李子營蟠踞し鮮人の收穫を妨害するを以て同年十月安東より警察官を派遣現地保護を實施せしめ實質的に成果を納めつゝありと雖も一部の無賴漢或は好事者等の惡宣傳又は中傷に會ひ懸案解決の妨害を受けつゝあり

2、昭和七年十二月寧安鮮人居留民會より寧安江南黃旗屯鄕長に鮮人避難民救濟策として水田五百天地を賃貸せしめられ度き旨申込みたるを以て鄕長は部落民を召集し諾否に就き協議の結果拒絕することを一決したるが鮮人側に於ては再會議を交涉したるに一同は討議の不必要を唱へ出席者六名に過ぎず遂に流會となりしを以て部落有力者等の反對に因るものなりと曲解し反對理由を詰問すべく武裝自警團十三名を派遣せるが、鄕長は既に避難し居たる爲各戶を搜査後に鄕長を發見し能はず、鮮人金起の弟を逮捕引揚げたる上監禁し以て借地交涉の貫徹に出でたるも部落滿人は之が不法行爲を縣長及協和會に訴へ釋放方を歎願せしも縣長等は之が解決策を安憲兵分隊に依賴し以て月十六日雙方の代表者各名を縣長及協和會員立會の上同分隊に於て會せしめたるが雙方共意見硬にして纏らず憲兵は個人解決の不可能と知り個人交涉を提議したる處各代表も之を納得し各自に借地約をなすこととして解決せり

その日く

□ 世界經濟會議休會案、米佛に擡頭す、どうせ纏らぬものなら早くやめること

□ 停戰協定後も依然抗日會排日貨の徹底を期す、もう一度停戰協定の內容を確めやう

□ 拓務省に滿蒙局新設計畫、機關の整備を急ぐより實際の仕事が出來るやうにしてほしいこれ氏の聲なり

□ 山海關國境警察隊員公金を拐帶逃走、今回も日本人官吏、これで何人目かしら

人事往來

▲堀內中將（愛國婦人會顧問）二十五日午後三時二十五分來京同四時三十分奉天へ
▲本野久子氏（愛國婦人會長）同上
▲世良大佐（關東軍司令部）二十五日午後三時二十五分來京
▲西中將（第〇〇團長）二十五日午後七時五十分來京
▲藏氏政部總長同上
▲長澤大佐（飛行第〇〇〇隊）同上
▲中村少將（第〇〇〇團長）二十六日正午來京
▲張軍政部總長二十六日午前八時四十分ハルビンへ
▲小林海軍少將同上
▲趙立法院長同上
▲多田少將（滿洲國最高顧問）同上
▲伊藤大佐（海軍）同上
▲王靜修氏（軍政部次長）同上
▲藤森大佐（駐滿海軍部參謀長）同上
▲二木博士（修養團常務理事）二十六日午前九時南行
▲蓮沼門三氏（修養團主幹）同上
▲久保田大佐（旅順要港部參謀長）二十六日午前八時來京
▲高柳中將（滿鐵顧問）同上
▲松木中將（第〇〇〇團長）二十六日午後七時五十分來京
▲廣瀨中將（第〇〇團長）二十六日午後三時二十五分來京
▲坂本中將（第〇〇團長）二十六日午後七時五十分來京
▲安藤中將（旅順要塞司令官）同上
▲井上中將（獨立守備隊司令官）二十六日午後一時四十分來京富士屋旅館へ
▲宇佐美少將（〇兵〇隊長）十六日午後七時五十分來京
▲服部少將（混成第〇〇〇旅團長）同上
▲岩井少將（鐵道分會長）二十六日午前九時南行
▲福田熊次郎氏（大和染料重役）二十六日午後四時三十分奉天へ

團体

▲栃木縣々會議員團十六名二十六日午後九時五十分公主嶺へ
▲金澤產業視察團十五名二十六日午後四時三十分奉天へ
▲咸境北道水產組合團十四名二十六日午後四時來京

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　一八片[illegible]
同　遠限　一八片[illegible]
紐育銀塊　三四仙[illegible]
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　四弗三仙[illegible]
米日爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナゴンダ株　[illegible]

▲綿花

●米棉　現物　[illegible]
七月限　九仙[illegible]
十月限　九仙[illegible]
十一月限　九仙[illegible]
一月限　十仙[illegible]
三月限　十仙[illegible]
五月限　十仙[illegible]

●印棉
ブローチ　[illegible]
ベンゴール　[illegible]
オームラ　[illegible]

▲上海票金
昨止　[illegible]
高値　[illegible]
安値　[illegible]
本寄　[illegible]
步値　[illegible]

▲上海紐育向
賣直　[illegible]
買直　[illegible]

各地市場

▲大連金鈔
現物　[illegible]
寄付　[illegible]
步値　[illegible]
引止　[illegible]
高値　[illegible]
安値　[illegible]
出來高　[illegible]

▲大阪株式
株新　[illegible]
紡新　[illegible]
新東　[illegible]
大鐘　[illegible]

▲同短期
[illegible]

▲大連株式
[illegible]

▲大阪三品
[illegible]

▲大阪棉花
[illegible]

▲大阪期米
[illegible]

新京市況

大豆　現物　出來高　[illegible]
高粱　出來高　[illegible]
小豆　出來高　[illegible]
▲錢鈔（現物）
鈔票對金票　[illegible]
現大洋對金票　[illegible]
國幣對金票　[illegible]
國幣對鈔票　[illegible]

山海關國境警察隊員
公金六千圓を横領して逃走
新京署へ取押へ方の手配

山海關國境警察隊員脇本賢之介（三〇）は去る二十一日公金六千五百圓を横領し朝鮮人情婦を伴ひ行方を晦したが犯人は新京に立廻つた形跡があるため二十五日山海關警察隊から新京署へ取押方の手配があつた

信用錄作製を種に
二千余圓詐取
惡運つき遂に捕はる

實業商工會の名をかり、實業商工信用錄を作製するさ詐稱し朝鮮を初め滿洲國各地で廣告掲載申込を

『勸誘』し廣告料前金二千五百余圓を騙取してゐた大詐欺師が二十五日勸誘中を新京總領事館警察署富田刑事の手に逮捕された、犯人は原籍長崎縣西波杵郡喜久村一二八二番地新京東一條通長春旅館止宿古賀吏之ここ古賀甚之助（三七）で、實業商工會信用錄編輯局東京市外荏原町小山一九九營業部福岡市新柳町大門通實業商工會調査員新滿洲國派遣員の名刺並に信用錄掲載見本を所持し朝鮮清津から間島、局子街、敦化、吉林方面で二千圓余を騙取し本年三月十二日新京に乘込み

『市内』の各商店、旅館、カフエー、料亭を廻り十圓乃至八圓五圓の廣告前金六百圓餘を騙取したこさを自白した、騙取した金はいづれも花柳界で豪遊消費したものである

滿洲修養團大會と
三顧問推戴式
二十五日新京高女講堂で

滿洲修養團顧問推戴式は二十五日午後二時から新京高女講堂で擧行全滿各地支部代表團旗を捧げて來會新京の男女團員も悉く參集日滿各界からの來賓夥しく定刻一同着席團旗に

『敬禮』を行ひ開會が宣せられ蓮沼主幹の祈りの詞總員の君が代合唱二木團長代理が令旨捧讀式辭を述べ、蓮沼主幹の挨拶に次で團長代理が鄭總理武藤元帥、林滿鐵總裁（代理）に顧問推戴狀を手交し之に對し武藤元帥、鄭總理の告辭があり、來賓宇佐美滿洲國顧問小磯關東軍參謀長、實業部總長張燕卿氏等の祝辭に次で祝電の披露あり、團員總代さして上原室町小學校長謝辭を述べ團歌合唱が行はれ二木博士の發聲で天皇陛下萬歲、溥執政閣下萬歲を三唱、小磯參謀長の音頭で滿洲修養團萬歲を唱和して式は終つたが引續き滿洲修養團々員大會に移り、靜座、遙拜、朗誦、岩井理事長の挨拶、團長の告辭朗讀、蓮沼主幹及び二木團長代理の

『講演』團員の感想發表國民体操、國歌合唱等があつて夕刻大會を終つたが修始、嚴肅敬虔な會合であつた

執政に
名犬ドル
を献上

井上獨立守備隊司令官は二十七日午後一時半執政に軍用犬シエパード一頭を献上するが該献上犬は黑色の牡で年四歳名をドルさ呼び豫て第二大隊にあつて三角地帶、東邊道、吉林、新京等に於て數々の偉勲をたてた名犬で近く制定され功章を下附上申の手續中のものである、愛犬家の執政は其の手續完了をも待ち詫びらるるので二十七日渡邊獸醫部長は貴志大尉を帶同執政府に赴き若干の時間各種の訓練を實施した後献上する筈である

大相撲
雨で延期

待望の的さなつてゐる大相撲興行は雨天の爲四平街は三十日、新京は七月一日二日開場に延期された

瀋海沿線慰安列車
大成功裡に歸還
＝東滿一帶に日本商品の進出＝

【奉天二十六日發聯通】瀋海線沿線住民慰安の目的を以て去る六月七日瀋陽驛を

『出發』した國路總局慰安列車は豫期以上の好成績を收め二十五日午後五時總局員其他多數の出迎裡に無事奉天驛に到着した、舊政權の飽くなき苛斂誅求さ長期に亘る匪賊の掠奪暴行に塗炭の苦しみを嘗めて來た沿線住民は滿洲國の成立さ共に今や全く王道善政の慈光に浴し安じて生業に從事することが出來、偶々慰安列車の瀋海沿線巡行を知るや彼等の喜びは非常なもので老ひも若きも打連れだつて遠くは五十支里の山奧より山谷を越へて泊りがけで歡迎に出る有樣であつた、各驛到着毎に住民は手に手に日滿兩旗、花環を打振り爆竹を鳴らし樂隊入りの白熱的歡迎で眞に涙ぐましき情景を呈した、文化的施設に接したこさの稀な彼等住民にさつては見る物總てが

『驚異』の的で施療車、施療車に雪崩れを打つて押しかけ施療車の如きは直ちに品切れさなる有樣で此の十九日間に亘つて總賣上げ約一萬五百圓さ云ふ額に達し、又施療を受けたる者も無慮千八百名の多きに達し神の使の訪れの如き歡迎さ感謝を受けた殊に注目すべきは邊避の地に在り物資の供給の缺い彼等にさつては其の欲求甚だしく今般の慰安列車施療車に依つて日本商品に對する信用も益々深まり施療車日本商人さの間に可成りの契約もある模樣で今後東滿一帶日本商品の進出に一エポツクを來すものさ目され其の將來に深く期待されるものがある

藤公ハルビンの
追憶の意義も新たに
標識設置具体化す

【ハルビン廿五日發國通】ハルビン驛頭に於る伊藤公最後の地點を記念すべき標識設置に就いて先般來有志間に提案されてゐたが廿四日ハルビン民會評議員會は次會の評議員會に右設置の件を請案さすることに決し偉人の跡を慕ふ有意義な計畫は具体化されるこさゝなつた

七十四才翁三百里を
自轉車で踏破

【東京二十六日發國通】岡山縣津山市の名物男三森義雄氏は七十四才の高齡を以つて岡山から東京迄三百里を自轉車で征服し、ヘルメツト帽も赤チクタイも眞黒になり、赤シヤツは破れ顔も手も黑々さ燒けたが、大元氣で二十五日午後一時半宮城前に到り、皇居を遙拜して自轉車の旅を終つた

天然痘かと
大騷ぎ

二十五日午前九時新京發第十二列車が公主嶺驛着直前、乘務車掌が前から三輛目の三等列車内に天然痘患者らしき滿人を發見、公主嶺驛着後直に患者は公主嶺驛に下車せしめ同三等車は一般より隔離し、四平街驛到着を待つて車内外の大消毒を行ひ豫防に萬全を期したが右患者は取調の結果滿人王漢文（二八）さいひ單なる皮病さ判明した

旭川市鐵道工場
全燒
損害廿五萬圓の見込み

【旭川廿五日發國通】廿五日午前零時半頃旭川市札幌鐵道局旭川第二工場より出火、折柄の西風に煽られ、猛火は忽ち第一、第三、第四、第五工場に延燒し、旭川の消防隊、鐵道從業員、その他驅け付け鎭火に努めたが、火勢強く遂に二時間燃え續け、全工場五棟二千坪を全燒し、二時半鎭火した、損害約二十四、五萬圓の見込みである

歡迎の波にもまれて
西中將來京

關東軍管下部隊長會議出席の爲め、西部隊長は途中機關車事故の爲め四十分延着の「はさ」にて八時半來京した、熱河聖戰後最初の凱旋で驛頭は小磯參謀長、岡村副長以下關東軍首腦部その他官民多數溢るるばかりであつた、貴賓室に小憩後直ちに軍司令部に入つた

（寫眞は新京驛着の西中將（右）と小磯岡村兩將軍）

新京青年訓練所
後援會發會式
七月一日西公園で擧行

豫て新京青年訓練所の事業を支援する趣旨の下に後援會を組織し會員の募集中であつたが入會者既に六百八十余名を得たので來る七月一日新京青年訓練所設立記念日をトし同日午後四時半から西公園誠忠碑前廣場で發會式を擧行するに決し夫々案内狀が發せられたが其式次第は

一、開會
一、君ヶ代二唱
一、創立經過報告
一、會長推薦
一、會長就任及役員委囑
一、管理者挨拶
一、青訓主事挨拶
一、來賓祝辭
一、青訓歌合唱
一、閉會

尚式後に訓練參觀その課目は閱兵、國民体操、敬禮、小隊密集教練、遊戯、着裝競走、傳令演習等で終つて生徒の飯盒炊事による陣中食の試食が催される若し當日雨天なれば商業校の講堂で擧行される

市中A組優勝す
劍道段外大會終る

新京体育聯盟主催の劍道段外大會は二十五日西廣場小學校講堂において盛大に開催されたが最後に警察A組對市中A組が覇權を爭ひその結果榮えある優勝刀は市中組の手に歸した

第一回戰

滿鐵 ―― 在郷A組
先鋒 一河崎 ―― 二押川
二奥 ―― 山本
二松浦 ―― 徳永
二古市 ―― 山田
大將 二石橋 ―― 藤川

商業學校 ―― 滿洲國
先鋒 一安島 ―― 二泉
二柳 ―― 一山崎
菱屋 ―― 二順藤
二東山 ―― 一佐藤
大將 二樋口 ―― 順藤

軍司令A組 ―― 軍司令B組
先鋒 二粟根 ―― 菊地
高木 ―― 二北岡
二秋元 ―― 池上
二鈴木 ―― 一下田
大將 二高橋 ――

在郷B組 ―― 警察B組
先鋒 一飯留 ―― 二城口
金親 ―― 二鶴原
福留 ―― 二古江
本田 ―― 二近藤
大將 生方 ―― 二庄内
不戰一勝組

第二回戰

警察A組 ―― 軍司令A組
先鋒 一緒方 ―― 二粟根
二日生 ―― 高木
一池邊 ―― 二秋元
二岡野 ―― 一鈴木
大將 二高橋 ―― 高橋
滿鐵 ―― 市中B組
先鋒 二奥 ―― 柴田

市中甲組、市中乙組、警察A組、商業學校B組

第三回戰

滿鐵 ―― 警察A組
先鋒 一奥 ―― 二緒方
河崎 ―― 二星
二松浦 ―― 一小西
一古市 ―― 二岡野
大將 石橋 ―― 二高橋

商業A組 ―― 市中A組
先鋒 宮島 ―― 二池田
二榊 ―― 二龍口
一布谷 ―― 二茅根
二東山 ―― 吉岡
大將 一樋口 ―― 二長島

市中A組 ―― 商業B組
先鋒 一樋口 ―― 一川尻
二池田 ―― 一荒木
二龍木 ―― 二綿鍋
一茅根 ―― 二田浦
二吉岡 ―― 二小掠
一長島 ――

商業A組 ―― 警察B組
先鋒 二河崎 ―― 一吉田
二松浦 ―― 一樺山
二古市 ―― 一呼井
二石橋 ―― 城口
二安島 ―― 一鶴原
二榊 ―― 二古江
一布谷 ―― 一近藤
二東山 ―― 二庄内

優勝戰

市中A組 ―― 警察A組
先鋒 二星 ―― 一池田
一緒方 ―― 二龍本
二高橋 ―― 茅根
大將 岡野 ―― 二吉岡

個人優勝者
一等星（警察A組）二等高橋（警察A組）三等東山（商業A組）四等瀧本（市中A組）五等松浦（滿鐵）
大將 小西 ―― 二長島

四對〇で
新京軍敗る
州外野球大會第二日

州外野球大會第二日、新京對奉天野球戰は二十五日午後零時四十分より西公園グランドに於いて球審渡邊、壘審筒瀨坂口、千葉、奉天先攻で開始されたが結局四對〇で奉天の一勝さなつた

スコアー、メンバー左の如し

											計
奉天	1	0	0	0	0	0	0	3	0		4
新京	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

新京

	打數	安打	三振	四死	失策
兄弟（遊）	3	0			
幡野（左）	4	0			
幡井（中）	4	0			
小田（一）	2	0			
小川（二）	2	0			
小保田（一）	0	0			
上田（右）	4	0			
仲川（投）	3	0			
杉（捕）	3	0			

奉天

	打數	安打	三振	四死	失策
香川（左）	4				
大日（二）	9				
小保方（中）	2				
徳田（投）	2				
大島（捕）	1				
佐根（右）	1				
村上（一）	12				
上（遊）	34				

△二壘打　孫

牧野八百米自由型に
世界新記錄

【東京廿五日發國通】二十五日神宮プールに擧行された早大對關西學院水上競技會に早大の牧野君は八百米自由型に於て十分八秒六の世界新記錄を出した

新京軍振ひ
第二部で優勝
全滿リレー大會

第四回全滿リレー大會は二十五日雨降る撫順永安台トラツクにおいて開催、新京チームは本野監督以下十數名參加、第二部に優勝しカツプ四個を獲得した、戰績左の通り

一、四百米繼走、一着新京（平川、山元、末永、中村）タイム四十六秒一、新京新記錄、二着以下大連一中、工專、鐵道工場、撫中撫工

一、千六百　混成繼走、一着新京（松崎、野本、千、中村）タイム三分五一秒五、二着以下四チーム

一、千米繼走、一着大連一中二着新京以下五チーム

一、八百米繼走、一着新京（平川、肥后、末永、中村）タイム二分三十八秒三、新京新記錄、二着大連一中以下五チーム

一、三千米チーム競走、一着育成、二着新京以下五チーム

一、砲丸大越三等

得点新京十八点、大連一中十二点、育成七点、工專五点以下略

明大野球部
今晩來京

明治大學野球部選手一行は今二十六日午後七時五十分着列車で來京するこさになつた、直ちに二十七日滿洲國野球倶樂部さの試合を行ふべく新京側では招聘者の大連滿倶及び實業團へ目下交渉中である

けふの銀相場

鈔票對金票	一〇三・三五
現大洋對金票	九九・一〇
國幣對金票	九九・三〇
國幣對鈔票	九六・〇〇

幕末異聞
愛慾火箭 (九十五)
作 瀧川駿
畫 村瀬洗舟

波の喜三(四)

牛込若宮町、野々村の親分の住居の門へ、四つ手駕籠がとんと着いた。

これは波の喜三が、朝歸りと洒落た圖であつた。

玄關先の格子戸の開くのを待ち兼ねて、三下奴の深川の茂三が聲をかけた。

『喜三樣、お歸りなさいまし。親分が先刻からお待ち兼ねでございます』

『親分が拙者を?』

小首一つ傾けた喜三が、大刀を左手(無論この男は左手しかないが)で鞘栂に取つて上つた。

だが、顏を包んだ頭巾は取らうとしない。

長火鉢を挾んで、野々村の安と金子喜三郎が對して坐つてゐる。

顏が落ち付くと、喜三は襟元から手を出して、宗十郎頭巾の端をぐいと引いて解くと、そのまゝ懷へ引きずり込んだ。

『親分、拙者に用と仰しやるのは?』

親分と言ふと、大抵相場が定つて銀口の煙管を持つてゐるものであるが、安は禁煙家である。長火鉢で手を翳しながら、例の調子で目を瞬いた。

『外じやござんせんが、一度奉になつたらみつちり御意見申し上げやうと思つてゐました事でござんす。實は、沒道な眞似がよして頂きたいんで……』

『……』

『と言つて お解りぢや なければ、士、農、工、商諸民の頭に立ちなさるお方に恥かしいやうな眞似はやめて頂きたいと言ふんでござんす』

『と申すと?』

喜三は飽までも白をきつてゐる。—

『お解りにならなければ申し上げますが、侍らしくもねえ町人風情の男から強請り騙りするのはやめて頂きたい。あつしらは吹けば飛ぶやうな船頭上りのしがねえ野郎でござんすが、生れて以來醜い者いぢめは大の嫌ひ。そんな奴を人間扱ひにしたかねえ。そればかりぢやねえ、乞食風情に縁起でもねえ身內呼ばわりされなきやならねえやうな醜い尻をお持ちなさる、お前さんにあつしは、つくづく愛想が盡きた。何にも言はねえで、今日限りこの家を出て行つて頂きやせう。』口幅つたい事を言ふやうだが、斯う見えても野々村の安は、人に男と立てられた伊達師の端くれ、如何に義理ある仲とは言へ、お前さんをこの上匿つて置かれねえ』

流石の喜三、二の句を繼げずに默つて聽いてゐる。……

『お前さんの父つあん、喜右衛門さんはそりや物の解つた曲つた事の嫌ひなお方だつた。あつしの親父が散々御恩に預つた、その人の息子さん一人世話が出來ねえと笑はれたかねえが、これも渡世の義理だ。お前さんの父つあんが喜三の奴は不憫な奴だ、生れ乍らにお袋の顔は知らず、それに物心が附くやうになると故郷の信州から雲州くんだりまで貰はれて行つた。と常不斷仰しやつてゐなすつた。それが天の業とは言ひながら不具者になつて歸りなすつた。田舍に居ても居辛からうから、安、當分預かつて呉れろとの事をわけてのお話しだ。二つ返事で引受け、立派にして親御さんの顔を立てたいと思へばこそ、今日が日まで言ひたい事も言はずに默つて來たんですぜ。そこいらを一寸は汲んで頂きたい。ねえ、あつしの家に居ちや修業にならねえ。どつか他人樣の水を飲んでおいでなせい』

强意見の後が、縁切言渡。默つて聽いてゐた喜三は應へやうとしない、刀を腰に差し込むと例の無精袖をして、默つたまゝ立ち上つた。

『一寸お待ちなせい。何處へ行くにも、先立つものは、これだ』

安は氣前よく手文庫から百兩包二個取り出して喜三の足許へ投げた。

六月廿七日 火曜 甲子 先負 破 翼宿
閏五月五日

●一白の人 行動を束縛せられて意の如くならざるの日 辰と酉と戌が吉
●二黒の人 緩む心を引締めて活動舞台に乗り出すべし 壬と癸と丑が吉
●三碧の人 人に接して温和なればカを添へられ好轉す 乙と壬と寅が吉
●四緑の人 運氣引立たず一家の和合を自させらるゝ日 乙と辰と巳が吉
●五黄の人 働くに優る味方なし自ら幸運に向ふべき日 甲と丁と壬が吉
●六白の人 情に溺れず理に馳せず臨機の處置を採べし 丙と未と丑が吉
●七赤の人 苦勞は薄紙の如く剝け喜悦の湧き上がる日 丁と申と寅が吉
●八白の人 物事思ひ通りに運ばねど倦かず進めば吉 乙と丙と子が吉
●九紫の人 苦しみ轉じて喜びに向はんとす純業開店吉 甲と乙と寅か吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

北鐵買收交渉愈よけふから正式開始

蘇滿代表の直接討議に任せ 帝國は靜觀主義

（東京二十六日發國通）北滿鐵道買收交渉は二十六日午後二時から霞ヶ關の次官々邸で露滿代表の歷史的會見で開始される、此の席上には內田外相、重光次官、東鄉歐米局長等列席、內田外相より斡旋役の挨拶の後兩國委員を紹介するのに對し蘇聯側ユーレネフ大使、滿洲國側は丁士源公使が各委員を代表して之に答へ紹介は簡單に終り二十七日より正式交渉が開始される

買收交渉に對する帝國の方針決定

（東京廿六日發國通）北鐵交渉開始に對し內田外相は重光次官等と之が對策を協議の結果左の方針を決定し、和戰兩樣の用意を以て圓滿解決を圖る事となつてゐる

一、北鐵買收交渉は蘇滿代表の直接討議に依り進行せしむる事を第一義とし交渉停頓せざる限り積極的に行動せず

一、右交渉は鐵道賣買商取引の範圍內で進め、交渉を紛糾せしめるが如き形式的、政治的論議を避ける方針

一、今回の交渉は蘇聯の提議に基くもの故成否如何は蘇聯の誠意如何に掛り萬一蘇聯側が不當な要求を爲し協定成立を妨げる場合は我國としては强硬に對處する用意がある

失敗を豫想し

我外務省對策樹立を急ぐ

（東京廿六日發國通）經濟會議二週間にして早くも假睡狀態でアメリカのモーレイ次官の追加渡英に對しても大した期待は掛けられず、右停頓の原因に就き外務省當局は左の意向で別項の如く、早くも會議失敗後の對策樹立を急いで居る

一、戰債問題でアメリカと歐洲諸國の對立

一、爲替安定問題に對するアメリカの不熱心と英佛が自己に有利に比率を協定せんとする利己的態度

一、經濟會議に備へる爲泥繩的に關稅を引上げたイギリスその他の鎖國主義

經濟會議の前途いよいよ暗憺

（ロンドン廿五日發國通）我代表部の觀測によると過去二週間の業績を見ると各國とも自國本位で協調精神を示さず此の調子だと經濟會議は條約でなく宣言位の收穫に過ぎまい、金融問題では日本は主動的には出てゐないし、その必要もあるまいと

關稅休日案

本月中に決定

（東京二十六日發國通）關稅休日案は二十四日の樞府審査委員會で決定を見た結果、二十八日の樞府本會議に附議される大体即日可決の見込みだがそれを倉富樞府議長より陛下に御上奏申し上げ內閣へ御下げ渡しのこととなるべく、次で閣議は石井全權へ訓令の件を決定することとなるが、右手續は大体今月中で完了するものと見られてゐる

門野顧問英人記者と會見

悲觀空氣を指摘

（ロンドン廿五日發國通）我門野顧問は廿四日英人記者に對し經濟會議の悲觀すべき空氣を指摘し、各國側に犧牲を甘受して會議を成功せしむべき眞劍味が缺けて居るのを歎じ、左の如く語つた

余は世界の各國は今日まで充分苦惱を嘗めて來て居るから建設的な方策を達成すべき何等かの準備を有して居るものと思つて居た、然るに現在までの會議の狀態では其樣子が甚だしく見えて居ない例へば關稅問題に就いて言ふても各國は犧牲を拂ふべきで、關稅障壁の高さに比例して之を低下せしむべきであり、劃一的切下げなど不合理な要求を爲すべきではない、これ迄經濟的國家主義の自殺行爲なることに就ては屢々語られたが、然も殆んど對策の見るべきものなく、米國が金本位制離脫を續けるべき充分な理由はない、余の觀る所では米國は物價を吊上げて然る後通貨の安定を計らうとする不可能を企圖してゐるらしい、要するに米國の國內經濟政策と國際經濟政策とは兩立し難いものだ、余は近く米代表部と接觸し關稅問題を如何にするか意見を聽くつもりだ

次で日米爲替安定交渉進捗說を否定し門野顧問は左の如く述べた

此問題は石井全權の米國滯在中にも少しも論ぜられた事なく余の知る限では其後も問題にされた事はない、更に余は最近の會議休會說等は問題にしない、若し何等かの事が爲さるべきならば今之を爲すべき時なのだ夏休の休會は成功の助けとなるならばそれも結構だが余の意見では仕事は正に唯今すべきである、戰債問題は世界經濟的混亂の底に橫たはる深淵であると思はれる若し此の問題が解決されねば如何なる問題もその解決は困難だらう、日、英間の貿易競爭緩和調整の問題に就ては友誼的商議を進むる樣努力中で何等かの解決に達し得るものと期待して居る爲替安から來る日本の利益は既に消失しつゝあり、日本の勞銀も昂騰の傾向を示してゐる、余は日印貿易問題につき、日本が印度側と討議することが役に立つか否かについては甚だ疑問とする處だがランカシア當業者との會談は極めて有益だと思つて居る船舶補助金問題についても日本の補助金下附は郵便契約船に與へられて居るものであり且つ甚だ少額だから問題にならぬ

糧食購入の爲

馮玉祥軍票五十萬元發行

（北平二十六日發國通）張家口來電によれば馮玉祥は軍費に當てるため五十萬元の軍票を發行し、之を以て管下の各縣から糧食購入にて當ることゝなつたといふ

沈鴻烈

危く兇彈を免る

（北平二十六日發國通）青島市長沈鴻烈より何應欽に宛てた入電によれば、沈は二十五日午後青島の碼頭で刺客のため拳銃三發を發射されたが命中せず、刺客は衞兵のため海中にたゝき込まれ、這ひ上る處を射殺されたが黑幕といふのみで何者とも判明しない

宇佐美團長來京

宇佐美騎兵集團長の代理として師團長會議に出席の筈であつた茂木團長は都合により宇佐美騎兵集團長自ら出席する事に變更され二十六日正午來京した

來年度豫算も各省分捕り騒ぎか

總豫算三十億を突破せん

（東京廿五日發國通）政府は閣議で明年度豫算編成方針として

一、各省經費は眞に緊急なるものに限ること

一、各省は此際極力經費の節約を圖り之が實現を期すること

等を決定し愈々各省で豫算概算書の作製に着手することになつたが之より先高橋藏相は各省の豫算分捕の弊を防ぐ爲來年度豫算編成に際しては其着手前閣議で國家的見地に立ち重要政策に關する『方針』を議し、同時に國家の大局より打算して其財源を公債に求めても尚且歳出の計上を必要とする事項に就き其大綱を決定すべしと提議し、各閣僚の注意を喚起したが、而してこれに對しての[illegible]の關係より其趣旨はもとより贊成だが實際上の問題として不可能であるとて老藏相折角の提案も有耶無耶に葬り去られて仕舞つたので來年度豫算編成に際しては從來通り各省は豫算分捕りに狂奔することゝなつたから此結果は陸軍の兵備改善費の增加、海軍の第二次補充計畫の本格的實施等の緊急已むを得ざる事項を始め、其他の各省よりも緊急不可缺なりとの理由の下に新規要求の提出が爲される事であらうから勢來年度豫算概算の歳出總額は三十億圓を突破するであらうと觀られる、之に對し大藏當局が『如何』に査定の斧を振ふかが興味ある問題だが何れにしても來年度豫算を本年度豫算より減額せしめることは困難視されて居る

豫算編成方針決定

（東京廿五日發國通）明年度豫算編成に關する各省の豫算要求書は一般會計は來月末、特別會計は八月末迄に大藏省主計局に提出さるるが、大藏省の編成方針は、大体左の通りである

一、新規事業は緊急費のみを承認し、その費途が有效適切か愼重審議す

一、時局匡救費は三年繼續の既定方針だが、近來農村不況幾分緩和したから幾分減額する

一、滿洲事變費は熱河平定し停戰協定も成立した故八年度より幾分減額す

一、海軍の第二次補充計畫、陸軍の器材整備費は國防の大局に立ち藏相と軍部の政治解決にまつ

一、幾分の增收は期待されるが、赤字公債は已むを得ないから稅制改正で準備委員會の成案を得て幾分でも增稅し、補塡せんとす

大同二年度豫算

廿八日頃閣議上程

大同二年度豫算編成に關しては豫てより各部提出の豫算要求に基き主計處に於て精密なる査定を爲しつゝあつたが、此程漸く査定を終つたので引續き主計處の査定を基礎として主計處、各部經理關係間に折衝中であるが、この程大体諒解を得たものゝ如く廿八日頃臨時國務院會議を開き豫算案を上程、審議に入る筈である

ビール會社の一大合同成る

產額の八割八分統制

（東京廿六日發國通）懸案のビール會社大合同問題は二十五日午後五時終に實現、サッポロ、エビス等の製造會社である大日本ビール會社はユニオン、ビール、三矢サイダー等の製造會社である日本麥酒鑛泉會社を買收する形式をとり兩會社の合同成立調印を見た、更にキリン、ビールも共同販賣に應じ全國ビール產額の八割八分が今回の合同によつて其統制下に置かれることになつた、ビール界の統制下なると共に獨專的勢力を利用してビールの値上げが行はれるのではないかと懸念があるが會社側は去年の値段に對し本年の原料値上りだけは加算せねばならぬが、それ以上の値上げはしないと言明した

我國麥酒業界に强固な企業合同を組織

（東京二十五日發國通）近來我經濟界に企業合同が相次いで實現しつゝあるが、最近又もや麥酒界の合同計畫が中島商相斡旋の下に急速に進展して來た、商相は過般來個人の資格で大日本の大橋社長、植村副社長、麥酒鑛泉の宮島監査、麒麟の磯野專務等を逐日私邸に招き協議の結果麒麟は資本的關係より直ちに合同に參加するは困難な事情にあるので、差當り第一段として大日本と鑛泉の合同を計る事となり、その條件は中島商相の裁定に一任された、而して商相は二十四日合併は麥酒鑛泉を大日本が買收する形式を取り、株價比率は十對七とするとの裁定案を兩者に提示、之に對し大日本側は即日同意の旨回答、鑛泉は廿六日首腦部協議の上廿六日回答する事となつた、尙新大日本麥酒並に麒麟麥酒には共販會社を組織せしめ統制を付はしめる事となる模樣である

大內暢三氏來京

東亞同文書院々長大內暢三氏は觀察並に公務の爲め二十五日ハトにて來京したが二十六日一日滯京の上朝鮮に向ふ豫定である

一時好轉を見せた天津市場

終熄せざる排日貨のため沈滯狀態に戻る

（天津二十五日發國通）天津市場は停戰交渉[illegible]一時景氣好轉の色を見せかけたが依然として排日貨盛んなため、安い日本品は僅かな日需品に於ての取引が行はれるのみであるため、從前の沈滯狀態に戻つた、右取引不振の原因は、某方面の調査によれば

一、欒・戰區の拾收未だ曙光を見ず、同地方の取引全く杜絕狀態で日貨が僅か從前の二割五分位供給されて居る程度である

一、察哈爾、綏遠、山西、一部の潛行的排日政策に伴ふ排日工作盛んなため奧地運輸不能

一、排日團体橫行と之が潛行運動に災ひされて商民の不安は從前に變りなく大量の日貨取引は彼等不良の徒の目標となり、結局は不法なる課稅、又は沒收を見る事となるので、此の危險を豫想して一切大口取引は手控への態となつて居る

一、河北地方に於ける軍隊集結が齎す影響津浦北寧平漢平綏各沿線には支那敗殘兵を交へた各種軍隊が駐屯して居り彼等の暴虐を恐れて日貨運送は多大の不安を感ぜしめて居る

一、戰禍に依る經濟的疲勞以上の理由に對し國府では之が打開策として先づ支那側商人を安堵せしめ、不安なく商業に就かしむるやうにするが、最も必要であるとして居るが、何よりも先づ平津兩市に於ける排日團体の潛行運動を終熄せしむるのが先決問題である

天津唐山間國際列車

廿六日より二個列車交替運行

（天津二十六日發國通）北寧線天津、唐山間の國際列車運行の件につき種々協議が行はれて來たが、愈々本朝より開通することになつた、運行列車は客車四輛、貨車一輛、機關車一輛を備へて居る、二個列車が交替運行することになつた

四A對三で新京遂に勝つ

州外野球對撫順戰

第七回州外野球リーグ戰新京對撫順の試合は引續き午後四時十分から香川(球)村上簡瀨酒井(壘)四審判の下に開始、四A對三で撫順惜敗す閉戰五時四十五分得點メンバー左の如し

	撫順(先)	新京
1	0	1
2	0	0
3	0	1
4	2	1
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	1	1A
計	3	4A

撫順　2松下　6寺　7松尾　5[illegible]　3[illegible]　9龜村　1[illegible]　4小井　8[illegible]　小成　出佐　岡杉　西

新京　6小幡　7小幡　8香　3小野　4小保　5田中　2賀　1高橋　9川田

	撫順	新京
打數	33	32
安打	3	4
得點	6	10
犧打	0	4
盜壘	2	0
三振	3	0
四死球	1	3
殘壘	4	7
失策	2	2

本壘打　淺香(新京)

二壘打　成松、佐藤(撫順)小幡(新京)

未決定工事

△新京驛犬舍詰所網戶新設其他の工事

豫算特命　（高岡組）　九二圓七〇錢

—豫定工事—

△新京保線區管內中間各驛守備兵休憩所增築其他工事

（入札）　二十八日

△新京大和ホテル屋根葺替へ工事

（入札）　二十八日

けふ決行 安東對撫順戰

聯盟リーグ戰第二日安東對撫順の試合は雨天のため中止であつたが二十七日午後零時三十分から開始することになつた

明大對滿洲國 午後四時から

昨夜來京した明治大學野球チーム對滿洲國チームとの試合は西公園球場で午後四時から開始する、なほ對新京の試合

佳木斯屯墾隊匪賊と交戰

戰死者三名を出す

（ハルビン二十六日發國通）佳木斯東方約三里にある屯墾隊第一伐材所（山形縣出身）は去る二十日午後一時頃約三百名の匪賊より襲擊を受け激戰一時間の後之を潰走せしめたが我方は左の通り戰死者を出した

佐藤吉次（山形縣東村山郡中村北山）佐藤慶尚（東村山郡大鄉村船町）留場秀美（北村山郡東鄉村泉鄉）

工事落札

國都建設局二年度入札は本日左の如く決定した

一、建國路附近道路々形築造工事

碇山組入札額五千四百八十圓

折合額三千七百七十四圓十二錢

二番札鈴木、梅本組　清水組

五千四百八十九圓六十三錢

一、交通部建設局前道路改築工事

大源組入札額四千八百八十圓

折合額　四千三百六十七圓

二番札長谷川工務所

四千九百圓

人事往來

▲津田旅順要塞司令官　二十六日來京滿蒙旅館に宿

▲坂本中將（第〇〇長）同上

▲井上獨立守備隊司令官　二十六日午後一時四十分來京富士屋旅館へ

▲長澤航空大佐、二十五日午後七時五十分來京同上

▲染谷保藏氏（本社代表者、盛京時報社長）二十六日午前來京ヤマトホテルへ

天氣と氣溫

二十六日の氣溫最高二十三度九、最低十六度、二十七日の天氣南東の風驟雨のち晴れ

北滿產の― 美味しい生バターを上海まで輸送
北滿の魚を生きた儘全滿へ 滿鐵の素晴しい計畫

北滿の生バターを盛夏の候に大連はおろか、上海の人々にまで食べさせる計畫は既に先程から滿鐵々道部の手で實施され

『非常』な好 續を擧げてゐる

元來チチハルから興安嶺を越えてホロンバイルに至る北滿鐵路西部線沿線は有名な牧畜地で殊に乳質が非常によく同地方のバター、チーズ等の乳製品は東洋第一とまで言はれてゐるが最も乳のうまい夏の間は輸送設備がなかつたので寶の持腐れとなり、同地方の酪乳工業の發達を妨げてゐたのである 滿鐵では此點に着眼し、ドライアイスを利用して盛夏の候に大連にも四洮洮昂線を經由して大連で冒出し更に汽船冷藏裝置によつて上海にまで輸出する計畫を樹てたのである豐富安價な原料を擁して此事業の將來は非常に有望とされてゐる

尙ほ滿鐵々道部では引續き水槽車を作つて嫩江その他の北滿の河川に產する鯉鯉を始め珍味として賞美される各種の川魚を大連に生きた儘持つて行く

『計畫』も間もなく實現されるが、これが實現は滿鐵沿線市民及び北滿住民にとつて非常な利便を齎らす譯である

時狀態にあつた大阪松竹レヴュー爭議は日曜日の正午から愈々盟休に入つたので當日は遂に開演不能となつた爲、滿員の觀客が承知せず一時大騷ぎを演じた

樂劇女生、樂士二十一名に 鹹首通告

（東京廿五日發國通）持久戰を續けてゐた松竹レヴュー爭議に對し、松竹側は愈々强硬手段に出で、二十五日正午突如今回の主謀者と目される江戸川蘭子以下樂劇女生徒十四名と樂士七名に對し鹹首を通告したが、之に依つて爭議は更に紛糾を豫想されてゐる

ハルピン滿鐵社員大野遊會

（ハルピン廿五日發國通）二十五日午前八時より、スンガリ對岸に於てハルピン滿鐵社員の大野遊會が催された、此の日照らず、降らず、絕好のピクニック日和に惠まれて滿鐵事務所、建設事務所、病院、學校、國際運輸の各家族千五百人は、早くも定刻前自動車バスを連ねて會場に押しかけ晝過ぎざつと一雨きたが、雨にもめげず、初夏の天蓋下で北滿第一線を守る彼等は大氣焰をあげて一日の淸遊を滿喫し、午後五時散會した

北滿鐵路でも團体割引開始
一、二、三等とも三割引き

北滿鐵路團体割引規定は從來確定して居らぬ爲旅行者は非常に不便を感じ各方面より規定制定の要望が起りつゝあつたが北滿鐵路當局に於てはこれに鑑み二十五日より地方的團体旅客運賃の割引を次の如く規定發表した

一、普通團体一、二等十五名以上、三等三十名以上の團体に對しては普通運賃の三割引

二、學生團体（三等に限る）五名以上三十名未滿の團体は普通運賃の三割引

三、同割引を受けんとするものは豫め文書を以て北滿鐵路管理局營業課に申込み、その都度同課で審議を受けること

諸將星 部隊長會議の 記者團に聖戰を語る

熱河聖戰北支戰勝の赫々たる武勳に輝く最初の凱旋を僞し二十七、八日兩日の部隊長會議に參集した關東軍隷下諸將星は、本日議會終了後少暇をさいて特に記者團と會見、司令部公報室にて聖戰後日談を試みることとなつた、記者團よりの祝辭に對し松木部隊長の答辭あつて後一時間聖戰後日談に花を咲かせ、記念撮影の後散會の筈

輕井澤夏期大會 講演會出席者に 運賃割引

七月廿一日より八月廿五日まで長野縣輕井澤町に於て開催の長野縣及 俗大學大會共同主催輕井澤夏期大會講演會列席者に對し滿鐵では次の規定に依り運賃の割引をすることと決定した、

一、割引區間 滿鐵連帶各驛より時線又は商船大連航路經由省線輕井澤驛行

二、割引期間 七月七日より八月二十五日まで

三、通用期間 發賣の日より九月八日まで

四、割引率 二、三等乘客に限り大人普通運賃の社線及航線は五割引、省線三割引商船二割引

五、條件 滿鐵旅客及荷物運送規則第五十五條規定の主催者發行の割引證を呈出すること

大相撲玉錦一行 來月一日より興行 新京神社境內で

好角家待望の大日本相撲協會玉錦、武藏山、清水川一行三百名の大相撲は愈々七月一、二の二日間（雨天順延）新京神社境內で擧行されることとなつた、本年は一行頗る元氣な上に取組がトーナメント式となつたので、一段と好角家の血を湧かす事であらう、今回の優勝戰に對し總領事及び滿鐵地方事務所から大カップが寄贈（前者の寄贈は初日優勝者へ、後者は二日目優勝者へ）された、尙ほ優勝戰には觀覽者一般より優勝力士豫想の懸賞投票を行ふと

△入場料

正面棧敷 四人詰一桝 金十八圓〇〇錢
特等 御一人 金四圓〇〇錢
一等 同 金三圓五十錢
二等 同 金二圓五十錢
三等 同 金一圓五十錢
子供 同 金五十錢均一

尙割引前賣券は市內各床屋、湯屋で發賣してゐる

全滿鐵道の貨客直通連絡
今秋の繁忙期を期して實現

滿鐵及び滿洲國線の貨物直通連絡は今秋の特產出廻りより實行することとなり、その準備として滿洲國線の機關車及び客貨車の連絡機及び制動機を滿鐵線と同樣のものに統一すべく目下滿鐵工作課の手で改造を急いでゐるが、その工作も最近大いに進捗し、既に吉長、吉敦、四洮、洮昂、齊克線等は大部分完了、目下呼海線に取掛つてゐる、この結果滿洲國線約五千輛の車輛が滿鐵と同樣の狀態となり、滿鐵車輛を國線に乘入れると同時に國線のマークをつけた車輛が滿鐵線を南下して大連埠頭まで乘入れられるので、貨物の積換への必要がなくなり鐵道及び荷主双方の便益は極めて多大となり滿洲鐵道界の劃明的進步となるものである

故佐藤氏の遺骨還る

昭和六年九月十九日北滿鐵路南部線米沙子驛北方三キロの地點で遭難した滿鐵の事變最初の犧牲者、當時ハルピン鐵道事務所混保係勤務技術員佐藤忠氏（當時三十二）の死体はその後杳として發見されず憲兵隊、警察等で全力を擧げて搜査中のところ、北滿鐵路南部線米沙子驛東方十五支里張家燒鍋村島嶼河々岸にあるを憲兵隊で探知、廿五日午前三時新京鐵道事務所の根占氏中村憲兵曹長以下憲兵十二名、故佐藤氏實弟佐藤氏、通譯官一名はモーターカーに分乘、新京發同九時現場に到着、人夫を督勵して上顎一、肋骨一を發見引揚げた、同遺骨は同夜懇ろに燒香、二十六日午後四時三十分實弟佐藤氏及親族のものに護られ淋しく南行した

大阪松竹座 遂に盟休へ

（大阪廿五日發國通）待遇改善の歎願書を提出したまゝ待

ヤマトホテルで 來京將星歡迎會

新京官民有志は目下〇團長會議に滯京中の將星を迎へ來る二十八日午後五時半からヤマトホテル納涼園で歡迎會を催すに決定した會費は金五圓列席希望者は地方事務所庶務係へ申込まるべし

滿洲人觀光客のため 學生通譯隊來る

（大連廿五日發國通）來月二十三日より四十日間大連市で開催される滿洲大博覽會は日本文化を滿洲國人に紹介する好機會にして滿博當局は大々的に滿洲人に呼びかくべく宣傳に大童となつてゐるが、これを聞き知つた大連商業學校では滿洲人觀客の言語不通より來る不便を除去するため五年生中より滿洲語に堪能なる五十名を選び、言學の實習方々會場內に於ける通譯、案內、說明等に當る事となつたが、斯かる學生の企は日本博覽會等でも行はれた事のない新しい試で日本語を解せぬ滿洲國人に歡迎されるであらう

滿鐵、國鐵の 旅客直通連絡 協定近く成立

全滿鐵道の輸送連絡を統一する爲曩に貨物輸送連絡會議が開かれたが去る十日より瀋海線列車も愈々奉天驛乘入れを實施したので、更に鐵路總局では全滿鐵路の旅客列車の輸送連絡を統一する爲旅客、手荷物連絡輸送會議を開催の結果、滿鐵線、奉山線及び瀋海線、滿鐵線間並びに瀋海線經由滿鐵線、吉海線間旅客、手荷物輸送規則も成立、滿鐵

基督教教役者 大會出席者に 運賃割引

七月十一日より二十六日まで遼陽に於て開催される基督教教役者大會出席者に對して滿鐵では割引往復乘車券を次の規定に依り發賣することとなつた

一、割引區間 社線各驛より遼陽驛行往復

二、割引期間 七月十日より二十六日まで

三、通用期間 發賣の日より七月二十七日まで

四、割引率 二、三等に限り五割引

五、尙割引券は蘇格蘭教會滿洲傳道會發行の割引證（旅客及荷物運送規則第五十五條所定の樣式のもの）引換發賣す

鰻のぼりの 新京花街景氣
前月より一萬圓の增賣上げ

物凄い新京景氣に月々上昇する市內各料亭の賣上高は實に驚くばかりで五月中に於ける四十三軒の料亭、（朝鮮人料亭十二軒も含む）の總賣上は十八萬七千三百三十九圓九十八錢、內酒肴料九萬四千六百八十九圓五十九錢、藝妓花代六萬八千四百七十六圓四錢、酌婦花代一萬七千五百七十三圓五十五錢の巨額に達してゐる、これを軒別に見るに筆頭は依然として曙の一萬八千百六十三圓七十錢、次が櫻花の一萬六千五百七十圓九十六錢、千鳥の一萬五千八百四十九圓九錢、八千代の一萬四千七百九圓六十三錢、やよいの一萬二千百八圓二十八錢で前月の十七萬二千八百十七圓八十錢に比して五月は一萬圓以上の增額を示し、この儘でゆけば何處迄上昇するものかちよつと想像に苦しむ程である

またダンスホールへ 六人組の壯漢
ダンスをやめさせ外出さす 廿六日高山署長訪問

二十五日午後九時四十分ごろキャピタルダンスホールへ六名の壯漢が現はれ「入場者はダンスをやめろ、外に出ろ出なければなぐるぞ」と怒鳴り初めたゝめ入場者は靑くなつて外出した

『居出』により新京署から渡邊高等主任、倉田司法主任、以下數名の警官並に憲兵分隊員數名が現場に馳け付けたが既に六名は入場者が外出するを見て約五分間の後姿を消した、續いて新京會館に現はれたが一も踊せず去つたが一行は宮崎祐次郎氏外五名で二十六日新京署に高山署長を訪ひダンス廢止論を一席辯じ立てたがダンスホールは營業である

『妨害』をしてはならぬ旨嚴重說諭され立去つた

財界の巨頭を狙つた犯人 擧動不審の男捕はる

（東京廿五日發國通）南千住署では廿五日擧動不審の男を引致し取調べの結果財界の巨頭藤原銀次郎氏、大川平三郎氏を暗殺し、商工會議所を爆破せんとの陰謀計畫を自白した同人は福岡市生れ大神開（三十八）で大正十一年大和民

たと稱してゐるが尙嚴重取調中である

山田少佐 市民へ謝電

元新京警備隊長山田少佐より新京時局後援會長に宛て「二十五日午後四時二十分無事任地に着く、市民各位に宜しく……」との電報があつた

大接戰の後 安東に凱歌擧がる
州外野球第三日

洲外野球聯盟リーグ戰第三日安東對奉天の試合は二十六日午後一時二十五分から西公園球場で川上（球）渡邊杉田坂口（壘）四審判の下に奉天先攻で開始された、奉天四回一點を先取したが安東劣らず六回に一點を返し一對一で九回に進んだが奉天得點なく安東軍の攻擊にうつるや酒井弟二壘前に安打瀨戶山捕邪飛有山三飛に酒井（弟）三壘に刺れ二死となり早くも補回戰を豫想されたが俄然酒井兄中前安打に出で續く三好右前安打を放ち有山生還し貴重の一点を擧げ安東軍に凱歌あがる、閉戰三時七分

先く
奉天 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1
安東 0 0 0 0 0 1 0 0 1 2

奉天 川方 日採 小野田 大佐 萩村 香大 浪 村橋 藤原 上
安東 兄好崎 南 岡井 後木 弟山 酒三尾 服吉 高橋 瀨戶 井

大會雜觀

△安東は再び服部を立てて得意のスローボールで奉天の健棒を封じやうとし奉天は昨日の小島を右翼にセーヴして田村をマウンドに立てた△双方打擊振はず三回まで點を爭さなかつたが四回に至つて孫、小島の三四番打者服部の球をチラと打ちして三遊間に安打チャンスを作つたのをキツカケに一點物した△六回安東のパラボールで一點は拾ひ物△安東更に八回一死三ルイに走者を置くチャンスを得ながらスクウィズをあやまつてフイにし幸運に見放されたと思はれたが九回裏に至つて二死一二ルイに走者を置き最後の打者安東のピカ一三好が右前安打に貴重の一點は天晴れだつた▲兩軍攻守共似たり寄つたりの好敵手で聊奉天にかがあるかと思はれたが安東に運があつたんだらう△安東は新京に負けて居るし奉天は昨日新京を負かしてゐるので安東に應援がたかつたのも人情の然からしむる所だらう（白浪生）

安東だより

サーカス團の 榮次君 京城の親許へ

（安東發）既報、富田サーカス團から脫出して泣き暮れてゐる處を情深い大谷氏に拾はれた哀れな少年宮本榮次君は爾來大谷氏に庇護されてゐたが二十四日京城の親から旅費を添へ歸して吳れとの依頼狀が來たので二十四日午後一時發「ヒカリ」で京城に歸らした

大懸りな 阿片密輸團

（安東發）前後二十三回に亘つて阿片四十貫（價格一萬余圓）を朝鮮より巧に密輸してゐた安東縣四番通り七丁目鮮人金仁甲（三四）同李炳菊及び大和橋通り七丁目兪興泰こと季時番（三五）は過般安東署吉田刑事に逮捕され一件書類と共に二十二日京城檢事局に護送されたが、これは滿洲國の阿片專賣制度實施を見越しての大密輸團員で、一味は九名（全部逮捕）からなつたリレー式の巧みな方法で遂行してゐたものであろ、首魁に祭り上げられてゐる姜化順（三四）は京城驛員として勤務してゐたのを奇貨とし安東在任の一味から買出金を充當されて他の一味に買付けを行はしめ自分はこれを小荷物送りとして白馬驛まで送達し其處から他の一味が安東へ持ち込んでゐたのが端なくも今回發見されたものである

四平街から
傳染病續發

（四平街支局發）雨期に直面して四平街に於ける各種傳染病は彌よ蔓延漸增の數字を辿つて居るが關係官廳では之れが絕滅に腐心して居る、即ち二十五日現在の入院患者數をあげると猩紅熱一、腸チフス一、赤痢一〇、ヂフテリヤ一計十三名で、內赤痢は六月中の陰鬱なる雨日和になつてから急に發生をみたものである

傳染病日報
六月二十四日

▲一本日傳染病發生患者氏名（自二十三日午後三時至二十四日午後三時）

▲赤痢 梅ヶ枝町 櫻井八重子（三一）同千鳥町 松岡キミ子（三つ）同老松町 佐々木操（一三）同保蘭曙町深見タマエ（四つ）赤痢城內東立道街渡邊光博（五つ）同同七馬路瀨尾ヒロ子（三つ）パラチフス和泉町蛭田正光（一九）猩紅熱、中央通末松レイ子（一九）同東二條通石黑照明（二つ）疫痢、曙町田中カメ（四三）ヂフテリア蓬萊町白神守（五つ）計九名

▲一、累計二百二十七名

▲一、本日現在九十四名

實業雪辱 對滿俱戰 9—7

（大連廿五日發國通）滿俱二勝の後を承けた實業對滿俱三回戰は廿四日午後四時卅分より中央公園滿俱球場で井口（球審）川久保尾崎（壘審）三氏審判の下に實業先攻にて開始、最初より打擊戰を展開し結局九對七で實業雪辱、滿俱二勝實業一勝となつた、閉戰七時十五分

バッテリー
實業 吉田、岩瀨、竹井
滿俱 小松、濱崎、片岡

	實業	滿俱
安打	一〇	一二
失策	四	四
四球	九	六
三振	三	四

富士山の 冷味放送

（東京二十五日發國通）J、O、A、Kではこの夏、最初の試である富士山頂よりの冷味放送を行ふ事になつた、先づ朝は、ラジオ体操、朝のスケッチ放送、氣象、ニュース等夕暮は演藝、講演、漫談等で放送期間は七月下旬に約二日間大体二十四、五日頃の豫定である

東京の大學生を迎へ
全新京、商業生 劍柔道對戰

來る八月九日滿洲產業觀察のため來京する全日本大學專門學校學生團一行を迎へ全新京軍並に新京商業學校は西廣場小學校で武道大會を開催することに決定なほ新京の劍道選手三十名柔道選手二十名出場することになつた

安東局員異動

（安東發）關東廳遞信局の人事異動の中安東局の分左の如く二十三日附發令された

安東郵便局長 澤田鐵治
遞信局在勤を命す
同 電信課長 中川周作
安東郵便局長心得兼務命す
同 庶務課長 櫻間四誠年
奉天郵便局庶務課長を命す
同電信課主事 高橋明
安東郵便局庶務課長心得を命す
以上

第十四驅逐隊 安東へ

（安東發）第十四驅逐隊所屬夕顏、菊、葵の三隻は豫定の如く二十三日午前十時半在安官民多數に出迎へられ堂々鴨綠江に入港その雄容を鐵橋下に現はし投錨した、なほ在安市民は二十四日午後六時半から安東公會堂で各官公署主催の下に歡迎會を開くこととなつたが二十六日拔錨までは毎日市中、朗らかな水兵さんの姿が見られる

滿洲國輸入關稅問題
日滿官民懇談會
二十五日盛大に擧行さる

(奉天二十六日發國通)滿洲國政府が國內海關を接收してから

『既に』一年になるが現行關稅は張學良舊政權時代の排日思想から割出された稅率で何時迄も現行稅制を改正せねば事は日滿貿易を阻むものなりとし關稅稅率の改正は刻下の急務となつて來たので滿洲國協和會に於ては二十五日午前十時より滿鐵社員俱樂部に日滿當局者と日滿經濟機關代表委員の參集を求め滿洲國輸入關稅問題日滿官民懇談會を開催した、參會者は滿洲國政府當局として財政部稅務司長源田松三氏、同關稅科長永井哲夫氏、福本大連、中村安東、松原營口各海關長を初め九名日滿經濟機關代表としては庵谷奉天、永原新京、高田大連各商工會議所會頭、各地輸入組合理事、奉天市商會長方理思氏を初め各地代表五十四名に達し關係官廳よりは關東軍特務部顧問鈴木靜香氏奉天省公署總務廳長金井章次氏を初め二十八名出席、主催者たる協和會よりは中央事務局小澤開策氏を初め九名出席合計百餘名に達する盛況である、十時三十分開會、劈頭主催者側を代表して協和會奉天事務局長韋煥章氏は「日滿兩國の共存共榮は經濟提携にあり、而して經濟問題で一番重要なものは關稅問題である、今日日滿兩國各位の御來臨を得て

『感謝』に堪へないお互に胸襟を開いて關稅問題に就き懇談して頂きたい」と開會の辭を述べ次いで中央事務局永江亮二氏より同樣謝意を述べ議長に奉天商工會議所會頭庵谷忱氏を推す

廣谷議長　先づ議事第一項(イ)輸入關稅々率の改正に關する件に就き參會者の發言を求む

上田和一氏(奉天商議副會頭)現行稅率は東北舊政權が昭和六年排日貨を目的として規定せる稅率を其の儘踏襲して居るもので滿洲國としては之れを一日も早く改正し日滿經濟の發展に資せられたい

最近新聞紙上に滿洲國政府は近く稅率を改正するとの記事が記載しあるが滿洲國政府は改正の意志ありや

之に對し源田松三氏(財政部稅務司長)現在の滿洲國の歲入の概況は

關稅收入	四〇、〇〇〇、〇〇〇圓
鹽稅	一七、〇〇〇、〇〇〇圓
內國稅	二六、〇〇〇、〇〇〇圓
專賣收入	九、三五〇、〇〇〇圓

であつて歲出豫算も右を基本に制定されて居る、而して建國匆々の事とて治安維持充分ならず內國稅、鹽稅は非常に大きい影響を受けたが、獨り關稅は大した事はなく現在稅收の五割を占めて居る譯である

財政當局者は常に三千萬民衆の幸福と日滿經濟提携の密接ならん事を兩者共に顧念し關稅制度の如きも急に變革する事を避け從來の稅率を踏襲して居る譯である

而し不當な點が無いでもないので實狀に即した方法に依り漸次改正して行きたいと目下研究中である、新聞紙上に記載されて居る滿洲國の關稅率改正は當方の關知せぬ所であつて又改正の時期等も不明であるが、稅率改正の準備を進めて居る事だけは明言出來る

次いで菅原憲亮氏、水江亮二氏の意見開陳あつたが可及的速かな稅率改正を當局に要望する事になり第二項輸入關稅課稅鑑定に關する件の討論に入る

福本順次郎(大連海關長)氏　課稅の不統一は屢々耳にするがそれも探究して見ると大底の場合それは價格の申告の不當な場合が多い

私の方としては一定の稅率通り徵收して居るが稅關吏としても一日に多數の貨物を取扱つて居るのだから間違ひがないとは限りません

かかる場合は速やかに抗議して下されば再審査をして若し海關側が不當と認めた場合は訂正します、兎も角申告書の數量及評價等は正確に明記せられ相互に事故なき樣努められたい

と述べ休憩となる、時に午後零時十五分、輸入關稅懇談會は午後一時再開、劈頭野添孝生氏(奉天商議理事)

一部不正申告に依る全部の關稅不統一は爲政者として當を得た事たらうが、一般商人は自分の取寄せた商品がよし不當な高率關稅を課せられたとて再審査に相當の時日を要する爲之に依る自己の不利益を考へ、まあまあと云ふ譯でつい再審査を要求し得ない場合が多い何れにしても稅關當局者はかうした再審査を要求した場合は商人側の意を諒せられ、出來得る限り速かに然も懇切叮寧に此の要求に應ぜられたい

と述べた、之に對し、福本大連海關長は

只單に自分一個の利益を考へず、海關側の不正を是正し啓蒙する意味におきまして出來得る限り多く再審査を要求され、相互扶助で進んで頂き度い

西尾一五郎氏(奉天城內貿易商組合長)

海關側に於て左樣親切且つ迅速に再審査をなし下さるにおては其都度再審査を要求するが、右の如き輸入稅不統一では商品の値段を決める上に非常に困るから一日も早く除去する樣に努められたい

福本海關長

御言葉迄もなく可及的速かに輸入稅の統一に努めますが商人側に於ても海關側の要求する事項は細大洩さず明記し以て通關上の煩瑣を避けられたい

△通關事務(手續)に關する件

三奈木重則氏(國際運輸)通關の圓滑を期する爲通關事務所の增設を圖られたい

福本海關長

インボイスの明確を第一位とし大量貨物の場合は必要なる事項を更に一層詳細に記入せられ通關申告書には必ずインボイスを添附する樣にされたい、當方として出來得る限りの便宜を拂ひますが少人數で大量の貨物通關をなすのですから不明瞭なのはつい後に廻される結果となるから商人側に於てもその點充分考慮されたならば、通關上から來る煩瑣は自然に除去され從つて通關も早く行くのぢやないかと思ふ

野添孝生氏(商議理事)

通關代辨人制度の缺陷から通關が手間取ると思ふから通關代辨人の特許制度を考慮されたい

源田財務司長

滿洲國が海關を接收してから漸く一年になつたばかりで貿易業者と海關側との密接なる連絡もされ居らざる爲、色々不備な點もあるから兩者の緊密なる提携を圖り通關上の圓滑に努める

△保稅倉庫設置の件

藤田九一郎氏(奉天商議員)が舊東北政權時代からの全滿貿易業者の要望を說明し之が設置方を提議し次いで

永井哲夫氏(財政部關稅科長)

御言葉迄もなく一日も早く各地の實情に照し實現に努める

△護照運照撤廢に關する件

西尾一五郎氏

[illegible]易業者にとつて不便この上ない

さて實際取引上から來る不便煩瑣の點々縷々說明、之に對し

源田財務司長

夫れは私も考へない事はないが何れにしても先程お話した樣に海關接收後日も淺く諸制度も完備して居らない滿洲國としては已むを得ない日本その他の先進國の如く關稅制度が完備して居れば勿論右の如きものは不必要だ將來滿洲としても不必要な時が來るものと確信するが今直ちに撤廢し樣とは考へないと同時に又全廢も至難である、然し取引を迅速圓滑ならしむる改善を加へる事に就いて吝かでないとて午後六時十分審議を打切つた、次いで奉天總領事鈴木關東軍特務部顧問より同會に對する所感があり、司會者、協和會小澤開策氏の閉會の辭あつて六時三十分和氣藹々裏に閉會した

快速機二機即時製作命令
獨航空相外國機飛來を口實に
―歐洲外交界注目―

(ベルリン廿四日發國通)ゲーリング航空相は快外國機のベルリン飛來を口實として二十四日突如快速飛行機二臺の即時製作を命じた、右はヴエルサイユ平和條約を無視したものであり、歐洲外交界に又復一悶着を生ぜんとしてゐる

勢の然らしむる所
格別な意味もなし
(四十五)　黑頭巾評

黑は『七十』と懸け粘いだ。それを拔つて置いて、白に『七十二』と截られては大損である。斷し、已むを得ざる所。

白『七十一』と覗き、白『七十二』と利かしてから、白『七十三』と尖むのは手順と言ふものである。

こゝ迄は、勢の然らしむる所で各別の意味もない。白『七十三』は手は拔けない。そこを衝かれて、白は低く匍ふようでは、只負けである。

黑の手番である。『七十四』と抱き頂けた。

これは、黑『五十二』と曲つて置いた手の延長である。白、已むを得ず『七十五』と跳ね、黑は『七十六』と當て白『七十七』と粘ぎ、黑『七十八』白『七十九』と伸びて後手を引いた。なる程、此處も非常は大きい所には違いない。

だが、左下隅方面の黑地には何處となく手薄なやうに思はれる箇所がある。黑は、『七十四』の抱き頂けの替りに(い)と打つて手堅くこの方面を防禦して置く方が安全の策だつたかも知れぬ。

白は何處かで稼がねば追付きさうにもない。『八十二』と約へ付けた。

隅は劫になる

黑は『八十二』と突張つて、白に『八十三』と受けさせ『八十四』と約へて隅を完全に生きたのである。

黑が若しも『八十四』の約へを手拔きすると、この隅は劫になる。

即ち、白(ろ)と打ち込み黑(は)白(に)黑(ほ)白(へ)黑(と)白(ち)黑(り)白『八十四』で劫である。

で、黑は、劫を封じやうとて白(に)と尖んだ時に(へ)へ置いても、白(ほ)と出で、黑(ぬ)白(を)黑(わ)白(か)黑(よ)白(ち)黑(り)白(ぬ)黑『八十四』白(た)で黑は手負けである。

黑は何も好んで劫になんかする必要がないのであるから、『八十四』と、後手を引いて納まつて置いた迄の事だ。

だが、若しも形勢が黑に香ばしからぬ時には無論手を拔いて他へ廻る。

作戰を凝らす

で、若しも劫に負けたとて、二手先鞭を付けられる譯だから場合に據つては、さういふ風に運ぶ事もある。

白は『八十五』と斜走した。この方面は如何にも、黑に薄味のある所である。黑は『八十六』とガッチリ粘いた。

白にそこを出られては、問題にならぬからである。

白はこの『八十六』の一子を足場にして、左下隅へ作戰を凝らさうといふのである。

この白『八十五』の石は、一寸見ると、フラ〳〵してゐるやうに思はれるが、その實、白には利いて黑は(そ)と應ぜねばならぬ所であるから、白『八十五』は殆ど完全に連絡してゐると見て差支へない。

白は何處へ突貫して行くのだらうか?

圍碁新手合
(三局の九)

三段　石塚行誠
三子　鶴岡隆

七十一 カノ十　七十二 カノ十一　七十三 タノ十　七十四 ロノ八　七十五 ハノ八　七十六 イノ七　七十七 ハノ七　七十八 ロノ九　七十九 ハノ九　八十 ロノ十　八十一 ワノ二　八十二 カノ三　八十三 ヌノ三　八十四 ソノ五　八十五 カノ十五　八十六 ヲノ十五

ラジオ欄

二十七日(火)新京
奉天後四、〇〇レコード相場　商業通信社
新京後　、三〇演藝
同　後五、〇〇時事解說
同　後五、三〇ニュース「滿洲語」
東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇演藝及講演
同　後七、〇〇ニュース(英語)
同　後七、一〇ニュース(露西亞語)
同　後七、二〇(朝鮮語)
同　後七、三〇ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同　後八、〇〇、八、三〇演藝
東京後八、二九—八、三〇時報
東京後八、三一—八、四五東京中央放送編輯

喜久屋旅館
開業

新京御大典紀念館右横に藤山與作氏經營の旅館は昨冬火災後新築中の處此程竣工廿六日から喜久屋旅館と稱し開業したが總二階の立派な建築客室も多數あり電話は二四四七番が開通してゐる

沼田法律事務所
移轉

市內三笠町四丁目七番地辯護士沼田勇氏は今回入船町四丁目三十一番地の二(日本橋通新京百貨店脇)に事務所を移轉、一般法律事務の外滿洲國商標法實施を機會に日滿兩國の特許新案意匠商標に關する事務をも併せ取扱ふと

新刊紹介

△奉天商工月報(六月號)主要記事、動く奉天の經濟事情、滿洲の取引所出來高、二十九都市に於ける商產物、奉天に於ける座談會、保稅倉庫の設置を提唱す、栗輸入稅率、奉天に於ける新輸入稅率、奉天に於工業製品等、發行所奉天商工會議所　[illegible]

蝦夷黒船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第九十一回

血の手紙（六）

カチウドは、急に立あがつた。

『さア、旅の人たち小屋へもどらう。お主らに、酸模飯でもたいて進ぜよう』

だが、白軒もフラメも、くち木の肌を離れやうとはしない。

『どうぞ、いま暫らくここで、お話しくだされ。まだお話が盡きませぬ』

『いや、その後のことはさいぜん話したとほりぢや。歩きながら小屋へ戻るまでに話して進ぜるよ、つまらぬ經歷さ』

『………』

ふたりも、立上つて老人に隨いて丘をくだつた。

『……で、破船の甲板でイサクに死なれてからのわしぢや、思つてもみい。そのときのわしの心境……しかもイサクの冷たい骸をいだいて死ねぬわしだつたのぢや。わしは、イサクに死なれて、初めてほんとうにわしの使命の尊さを知つたのぢや。……生きねばならぬいや、生きてゐることの力強さを身に覺えたのぢや。イサクの死骸を踏臺にしてあくまでも命を繋び目的を果さずにはおくものかと、齒を喰ひしばつて立上つたのぢや』歩きながら、ふとカチウドは口をつぐむだ。何事か深い感慨に陷づたものらしいが、すぐにまたあとを續けた。

『それから、二日目のあさ、わしはイサクの死骸に別れを告げたのぢや』

『え！』

『おうさ。情ないやうだが、イサクの死骸を甲板に殘して、わしはいよいよ破船を見すてたのぢや。何故？……と聞くかい。わしは、蝦夷地松前へ往かねばならぬ。破船の食料は盡き、わしの使命の重さを痛感したのぢや』

『でも、獨木舟は……』

『艀卒にも獨木舟を離してやつたので、いまは別な手段方法を選むだのぢや。わしは、船室へ降りて楫子をさがし求めて來た。その斷枚をつなぎ合して、どうやらいかだをつくることが出來た。わしはいかだをうかべ、浪路はるかに松前指してゆかうといふのだ。わしは、いかだのうへで、離れゆく破船を望みながら、イサクの死骸に十字を切つたのぢや。そ、それが永遠にイサクとのわかれだつた』

さすがに、カチウドは暗涙を呑んだ。

『………』

白軒も、フラメも、ともに聲を呑んでカチウドのあとに續いた。

『それから三日三晩、海洋を波濤に弄ばれ、づぶぬれになり、半死半生のまゝ漂ふた末、幸か不幸かわしはエドロフのアイヌの漁船に救れたのぢや。このときもまた、わしは死んでをつた。いやこのとき死んでしまふたら、イサクはどんなに喜んで迎へてくれたかしれぬが……やはり運命は、わしを殺しはせなんだ。わしは、その漁船に敎はれエドロフへ戻り、アイヌたちと數年を送り、更にエドロフからクナシリへ便を求めて渡り、そこにも數年、クナシリから根室場所へやつとたどり着くことが出來たのは、かれこれ十七八年の後だつたのぢや。若かりしわしは、いつのまにか四十に近い中年男となつてをつた……』

『根室場所で、いかがなされましたか』林間で白軒はカチウドと肩をならべながら訊ねた。

『番所の役人は、わしの陳述を素直に受容れてくれず、わしを狂人扱ひにして追拂ふのだつた。無理もない。北方の邊土に、十數年を過ごしたわしの容貌、わしの風采が、眞人間の域をはるかに下落してをつたのは無理もあるまい。ハヽヽ

いや、根室番所の役人のみではない。それから厚岸へ出で、北見へ拔け、蝦夷地の中部を諸々方々あるきまはつたが、どこでもわしは人間扱ひされなんだ。そして最後にたどりついたのが小樽場所、そこの番所の役人の目は一層わしを鑑別する明がなく、わしを異端視し、この山中へ追まくつたのぢや。わしも、いまはよる年波、これ以上の艱難辛苦はわしの心身がゆるさぬ。わしは一切をあきらめて、この山中に老いくちることを覺悟し、アイヌの建築してゐる丸小屋を修理し、かくは隱棲してゐるのぢや。いやはやくも老ぼれてしまうたわい。……どりや、小屋へついた。飯でもたいて進ぜようか』